

平成 27 年度 研究成果報告書
Research Achievement Report FY2015

Date: 2016/3/7

言語社会専攻長

日本語・日本文化専攻長 殿

To Dean of Studies in Language and Society

To Dean of Studies in Japanese Language and Culture

講座名・職名 Course Title・Job Title	アジア言語文化圏研究部門 I・准教授
氏名 Name	中嶋善輝
専門分野 Academic Field	モンゴル語学, アルタイ言語学

主たる研究テーマ Principal Research Subject	モンゴル語とチュルク語の言語接触
<p>平成 27 (2015) 年度は, アルタイ諸語の内, モンゴル語およびウズベク語に焦点を当て研究を行った。その成果としてすでに公表・刊行されたものは, 以下の 2 点である。</p> <p>1) 『明解モンゴル語文法』(平成 27 年度言語研修モンゴル語研修テキスト 2, 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所, 135p. ISBN 978-4-86337-204-7)。本書は, アルタイ諸語の基本構造である 3 品詞類(名詞類, 動詞類, 不変化詞類)分類による章立てで, モンゴル語文法を体系的に記述したものである。「第 1 部 文字と発音」では, モンゴル語(モンゴル国の公用語)を表記するキリル文字アルファベットと発音の関係を学び, 「第 2 部 モンゴル語のつくり」では, モンゴル語の構造を概説した。「第 3 部 名詞類」では, 複数接尾辞から始め, 格語尾, 代名詞, 形容詞, 数詞, 量詞を解説した。「第 4 部 動詞類」では, 動詞類を分類・概観した後, 動詞語幹の求め方, 態, 相, 命令形, 終止形(非過去形と過去形), 形動詞(13 種), 副動詞(17 種)など, 接尾辞の付け方を極力表にまとめ, 付加例を挙げつつ, 用例付きで解説した。補助動詞では, 21 の動詞を取り上げ, 意味・用法を説明した。「第 5 部 不変化詞類」では, 副詞, 接続詞, 後置詞, 助詞類をそれぞれ述べた。</p> <p>2) 『簡明ウズベク語文法』(大阪大学出版会, 215p. 平成 27 年度科学研究費助成事業(研究成果公開促進費)「学術図書」課題番号: 15HP5073. ISBN 978-4-87259-534-5 C3087)。本書は, 3 品詞類分類による章立てでウズベク語文法を記述した拙著『明解ウズベク語文法』(平成 25 年度言語研修ウズベク語研修テキスト 3)を土台に, 加筆(例えば所有接尾辞の内容の詳述化や, 間投詞・挿入語の項目追加)・修正し, 刊末語彙集を加えて, 市販用のウズベク語文法書として出版したものである。本書は, 日本図書館協会から, 選定図書(第 2981 回平成 28 年 1 月 27 日選定, No.138)に選ばれた。</p> <p>なお, 当初大学書林からの出版を予定し, 数年来取組んできた『ウズベク語辞典(仮名)](見出し語約 28100 語)は, 7 月までに執筆をほぼ完成させたが, 先に出版した拙著『簡明ウズベク語辞典』(見出し語約 13000 語; 大阪大学出版会, 2015 年 2 月)との兼ね合いから, 計画は白紙化された。</p>	